



今回は、9月30日に行われた『先輩さんいらっしゃい』についてお伝えします。

高等部3年生全員、2年生2人が参加しました。

障害者就業・生活支援センターの支援を受けながら就労している3人の仕事を動画や本人・職場の人の
お話で紹介していただきました。

※障害者就業・生活支援センターとは

障害者雇用で一般就労した卒業生は、障害者就業・生活支援センターの担当者がついてくれ、支援をして
いただいていることがほとんどです。障害者就業・生活支援センターは、和歌山市は『つれもて』
岩出圏域は『フロンティア』、海草・海南圏域は『るーと』という名前の施設です。

『つれもて』より

(経歴) 中途障害により退職⇒就労移行支援事業所『ウェルビー』⇒『サイバーリンクス』(清掃の仕事)

40代で目の病気が発覚し、病気のことを周りに伝えずに働いていたが、仕事への影響が大きくなり、
退職。ハローワークを通じ、就労移行支援事業所を紹介され、職業訓練。その後就職。

仕事の場面では、タイマー機能を使い時間管理等の工夫を行ったり、**周囲からの声かけ**に助けられたり
していることをお話しされていました。

『フロンティア』より

(経歴) 就労継続支援A型事業所⇒『山田利』(ピッキングの仕事)

A型から一般就労へステップアップした方で、**丁寧に**考えながら梱包すること、**周りを見て**動くこ
と、頼まれた仕事は断らないようにしていること等を大切にしていると伝えてくれました。周囲から
は、少しずつ仕事を覚えられるように支援してもらい、慣れるまであたたかく見守ってもらったとの
お話を聞くことができ、**職場環境**の大切さも実感しました。

『るーと』より

(経歴) 介護職⇒障害者手帳取得⇒就労移行支援事業所⇒就労継続支援B型『かたつむり』職員

就労移行支援事業所で職業訓練をした後、B型の支援員として働いている方のお話でした。大切に
していることは、**体調管理をし、休まず出勤**すること、**目標を持つ**こと、**丁寧に作業**をすることと話
していました。前の職場では、困った時には一人で泣いていたが、**相談**する支援員・友達・家族に相談
できるようになり、今は泣くことがなくなったと変化を語ってくれました。

参加した生徒の感想より

- ・もし、失敗や挫折をしても就労移行や支援員さんが支えてくれる
ことがわかった
- ・体調管理が大切だとわかったので、睡眠時間を確保したい
- ・新しい作業にもチャレンジを続けたい
- ・挨拶や返事をできるように頑張りたい 等

3人のお話を聞いて自分の将来について、考える機会になりました。

病気のこども支援者研修会

「支援者が知っておきたい
障害年金のしくみ」

12月20日(金)

時間 14:00~15:30 (講師) 社会福祉法人一恵会
障害者就業・生活支援センターつれもて
センター長 氏原 留蘭 氏

対象 10の進路支援コミュニティセンター
(和歌山中区内の6名圏域)

対象 医療・保健・福祉・教育関係者・
病気や障害のあるこどもの家族等

定員 40名(先着順) (参加費) 無料

申込み
11月20日(金)までに、申込フォームもしくは下記URLからお申し込みください。
URL: <https://koushoum.jp/form/2024/1220002>

お申し込みが難しい場合は下記までご連絡ください。
申し込み後、定員がなくなった場合はメール (se0030021@pref.wakasa.mie.ac.jp)
にてご案内します。定員超過を予めご留意ください。

問合せ先
和歌山県障害者・こども発達支援センター
和歌山市紀三井寺8-1-1 和歌山県立医科大学附属病院3階
TEL: 073-445-0020 (平日午前9時00分~午後5時45分)
FAX: 073-445-0003

先日配付しましたが、12・2 実施の『年金について』の講演のお知らせです。
一般就労している卒業生が支援を受けている障害者就業・生活支援センター
のセンター長のお話です。子どもたちの将来の年金について、学びませんか。